

第42回季例会・公開講演会



大内義隆と安芸厳島社

平成30年

日時： 12月 17日 月 13:30～15:30

無料

場所： 文学研究科 (文学部)
B104 講義室

講師： 広島大学大学院文学研究科

教授 本多博之氏

【概要】

戦国時代の安芸厳島社は、周防国山口を本拠に周防・長門だけでなく九州の豊前・筑前、そして石見・安芸の一部も含む広大な領国を支配する大名大内義隆と密接な関係にありました。そして、厳島神主家と安芸武田氏が滅亡した天文10年(1541)と、大内義隆が重臣陶隆房の謀反により自刃した同20年が、安芸国にとって大きな転換点と言えます。そこで今回は、天文10年から同20年までにスポットを当て、大内氏の動向と安芸厳島社の社内機構や経済基盤の変化、そしてそれを取り巻く社会状況についてお話しします。